

# 平成27年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	178	事業名	観光リーフレットの作成
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		観光
個別計画	文京区アカデミー推進計画		
所管	アカデミー推進部	アカデミー推進課	
目的	文京区のような観光資源等を紹介するリーフレットを作成して無償配布し、一般観光客の区への誘致を図ります。		
手段	区内観光施設及び名所・旧跡等観光資源を紹介する観光リーフレット及び食に関するリーフレットを、文京区観光協会に補助金を交付して作成し、本区の魅力を紹介するとともに、文京区観光インフォメーション、シビックセンター展望ラウンジ、東京都観光情報センター及び花の五大まつり等の会場等で配布し、観光客の誘致を図ります。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
作成部数	部	129,000	141,000	81,000	57%	179,000			116,000

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A	2,725	2,830	2,189	5,275		
特定財源	0	0	0	0		
一般財源	2,725	2,830	2,189	5,275		
所要人員 B	0.20	0.20	0.20	0.20		
職員1人給与 C	6,868	6,814	6,766	6,944		
人件費 D=B×C	1,374	1,363	1,353	1,389		
総経費 E=A+D	4,099	4,193	3,542	6,664		

4 評価			
事業の成果及び課題			
26年度		27年度	
【成果】	各種まつり会場、観光ガイド事業、各種イベントの他、区外からの観光客誘致を目的に、地域情報センター（日本橋）を含め都内3か所及び東京ドームホテルなどにおいて配布等を実施しました。 それらの成果もあってか「観光ガイドマップおさんぼくん」は、地域情報センターにおいて都内第1位となり、多くのメディアにも取り上げられ、利用希望等の反響がありました。	【成果】	リーフレットの見直しを検討するため、作成部数を必要最小限に止めました。新たに丸の内KITTE内東京シティアイにおいて文京区専用ラックを設置し、パンフレットの配布を実施しました。 配布部数は例年並みを維持しましたが、外国人観光客が多く来訪する都内施設での配布の成果が、「観光ガイドマップおさんぼくん」・「おいしゅうございまっぶ」のどちらも外国語版の配布数を伸ばしており、前年度と比べ、外国語版年間合計配布部数は6,000部以上の増加となりました。
【課題】	リーフレットの評判はまずまずではありますが、成果が具体的に目に見えにくいものとなっています。 また、2020年オリンピック・パラリンピックに向けて外国人旅行者向けの施策等が課題となります。	【課題】	2020年オリンピック・パラリンピックに向けて外国人旅行者向けの施策等が引き続き重要となっています。観光協会や都内の各施設と連携し、外国人旅行者に効果的な情報発信をしていくことが必要となります。 また、リーフレットのWeb・携帯端末との連携の強化が課題となっています。
指標達成度		26年度	27年度
		A	C

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
①「おさんぼくん」は、地域情報コーナーにおける配布数で都内第1位を維持し、全国では前年度の18位から6位まで順位を上げました。	

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	現状維持	「おさんぼくん」「おいしゅうございまっぶ」とともに、需要を勘案し、適切に作成部数を見直すとともに、効果的な配布方法を検討します。
27年6月末	拡充	② 当初予算の増減内訳 作成部数の増加、「おいしゅうございまっぶ」の3年ごとの改定に伴う予算増。
28年6月末		③ 所要人員の考え方 常勤職員 1人×0.1=0.1人 非常勤職員 1人×0.1=0.1人 計0.2人
		④ 現状維持の理由

# 平成27年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	179	事業名	フィルムコミッションによる観光振興
基本構想上の位置付け	【大項目】		【小項目】
	コミュニティ・産業・文化		観光情報
個別計画	文京区アカデミー推進計画		
所管	アカデミー推進部	アカデミー推進課	
目的	映像制作者を積極的に誘致し、ロケーション撮影を行うことを通じて、メディアを活用した区の情報発信を行うとともに、ロケ地見学など観光振興による地域の活性化を図ります。		
手段	ホームページやフェイスブック、ツイッターによる情報提供等により、映画、テレビドラマ、CM等の映像制作者を積極的に誘致し、ロケーション撮影支援を行うことを通じて、区の情報発信を行います。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
相談・連携件数	回	609	600	691	115%	609			618

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A	3	72	1	146		
特定財源	0	0	0	0		
一般財源	3	72	1	146		
所要人員 B	0.25	0.25	0.10	0.20		
職員1人給与 C	6,868	6,814	6,766	6,944		
人件費 D=B×C	1,717	1,704	677	1,389		
総経費 E=A+D	1,720	1,776	678	1,535		

4 評価				
事業の成果及び課題				
26年度	27年度	28年度		
<b>【成果】</b> 映像制作者からの問い合わせは年間約120件となり、うち10件に撮影協力を行いました。区HP及びフェイスブック並びにツイッター等を活用し、広く情報発信を行いました。 区有施設等における撮影に関する取扱要綱を定め、区有施設等の撮影受入体制調査を行いました。	<b>【成果】</b> 映像制作者からの問い合わせは約140件となり、うち13件に撮影協力を行いました。特に区の観光施策として重点的に推進するまちあるき関連の撮影案件については積極的に受入し、7件に撮影協力を行いました。区HP及びフェイスブック並びにツイッター等に撮影実績を掲載することで区の事業の認知度が高まり制作会社からの問合せも増加しました。 区有施設の各担当課と協議連携し、最短で3日程度で撮影受入事務手続きを終えることができました。	<b>【成果】</b>		
<b>【課題】</b> 策定した要綱の安定的運用を行う必要があります。また、映像制作会社及び施設所管課等と密な相談及び協議を行うことで、事務手続き期間の短縮化を行います。 撮影相談・協力件数の増加にともなう業務の増加が課題となっています。	<b>【課題】</b> 引き続き増加している撮影相談・協力件数の増加に伴う業務の増加への対応が必要です。あわせて担当内での撮影相談受入体制も課題となります。今後はますますより上質な案件への撮影協力が求められます。	<b>【課題】</b>		
<b>指標達成度</b>		26年度	27年度	28年度
		A	A	

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	改善・見直し	区内ロケ撮影候補地に関する情報提供を行うとともに、映像制作者からの様々な問い合わせに対応します。区有施設等における撮影に関する取扱要綱を根拠に適切に審査、承認し、使用料の徴収を行います。
27年6月末	拡充	<b>② 当初予算の増減内訳</b> 事務用品購入に係る一般需要費の増 22千円 映像録画機器購入に係る備品購入費の増 44千円
28年6月末		<b>③ 所要人員の考え方</b> 常勤職員 2人×0.1=0.2人 <b>④ 現状維持の理由</b>

# 平成27年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	180	事業名	観光インフォメーションの運営
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		観光
個別計画	文京区アカデミー推進計画		
所管	アカデミー推進部	アカデミー推進課	
目的	まちあるきを行う来訪者に対して、旬の情報を迅速・適切に提供するため、観光インフォメーションを運営します。		
手段	観光インフォメーションにおいて、お客さまのニーズに的確に応える情報提供を行う。またシビックセンター展望ラウンジに映像設備を設置するなどし、まちあるきを行う来訪者が立ち寄る可能性がある区内の観光拠点を充実させ、情報発信機能を強化していきます。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
観光インフォメーションの相談件数	件	5,724	5,896	8,566	145%	6,068			6,240
(内訳) 来所相談	件	4,323	4,453	6,667	150%	4,583			4,713
電話相談	件	1,401	1,443	1,899	132%	1,485			1,527

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A	10,699	11,267	11,268	12,638		
特定財源	191	195	195	251		
一般財源	10,508	11,072	11,073	12,387		
所要人員 B	0.30	0.30	0.30	0.30		
職員1人給与 C	6,868	6,814	6,766	6,944		
人件費 D=B×C	2,060	2,044	2,030	2,083		
総経費 E=A+D	12,759	13,311	13,298	14,721		

4 評価					
事業の成果及び課題					
26年度		27年度		28年度	
<b>【成果】</b>	森鷗外関連団体との協定締結に伴い、津和野町と観光資料を相互に配架するなど、観光客誘致の手段を広げました。また25階展望ラウンジの資料配架やポスター掲示のほか、広報課作成のDVDの放映により区内観光施設のイメージアップを図りました。		<b>【成果】</b>	25階展望ラウンジでは広報課作成のDVDのほか、花の五大まつりの映像など、時期に合わせた内容を放映することによって旬の情報を発信しました。また関口地域を紹介した観光インフォメーションPRポスターを作成し、区内施設をはじめ、ミュージアムネット加盟施設や都内観光情報施設で掲出を行いました。それらのPRの成果か、観光インフォメーションに寄せられた相談件数は前年度比で大幅に増となりました。	
<b>【課題】</b>	来所相談件数が増加する中で、狭い接客スペースでは待ち時間が長くなることもあります。また来所者のニーズに応じ、観光施設等のリーフレット数も増加しているため、資料配架の工夫やスペースの充実が必要となります。なお、情報ツールの一つである観光関連のホームページについても今後改善・充実に向けた検討が必要です。		<b>【課題】</b>	次年度は観光インフォメーションのリニューアルにより、接客スペースの拡張が予定されています。これを機に、いかに来所者にとって入りやすく過ごしやすい空間にするか、スペースの有効活用が課題となります。全体に対する割合は低いものの、外国人観光客の来所人数は増加率が高くなっており、対応の強化を図る必要があります。	
<b>指標達成度</b>		<b>26年度</b>	<b>27年度</b>	<b>28年度</b>	
		<b>B</b>	<b>A</b>		

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
①まちあるき・イベント情報・道案内などの相談が特に多く、様々な質問に対応する知識が求められています。また、花まつりの時期には開花状況の問い合わせが非常に多く、現場や事業所管と連携を密にし、相互に情報共有することが重要となっています。	

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	改善・見直し	観光インフォメーションや展望ラウンジにおいて、観光スポットやイベントの紹介など、引き続き適時適切な情報提供を行っていきます。
27年6月末	拡充	<b>② 当初予算の増減内訳</b> 観光インフォメーション移転に伴う一般需用費・一般委託費・備品購入費の増 1,105千円 ポスター隔年印刷等による印刷製本費の減 54千円 観光インフォメーション管理委託費増による一般委託費増 320千円
28年6月末		<b>③ 所要人員の考え方</b> 常勤職員 1人×0.2=0.2人 非常勤職員 0.5人×0.2=0.1人 計 0.3人
		<b>④ 現状維持の理由</b>

# 平成27年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	181	事業名	観光ガイド事業の充実
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		観光
個別計画			
所 管	アカデミー推進部	アカデミー推進課	
目的	来訪者を温かく迎え、本区を印象付ける魅力の一つとして、区民のおもてなしの心を醸成します。		
手段	区民を中心に観光ガイドを募集し、ガイド技術を十分に育成した後に、来訪者の依頼に応じて、区内観光スポット等を案内する事業を実施します。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
観光ガイド事業参加人数	人	1,045	1,045	1,318	126%	1,076			1,076
観光ガイドボランティア登録者数	人	14	14	14	100%	30			30

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A	651	989	909	974		
特定財源	0	56	62	0		
一般財源	651	933	847	974		
所要人員 B	0.15	0.35	0.35	0.40		
職員1人給与 C	6,868	6,814	6,766	6,944		
人件費 D=B×C	1,030	2,385	2,368	2,778		
総経費 E=A+D	1,681	3,374	3,277	3,752		

4 評価						
事業の成果及び課題						
26年度		27年度		28年度		
【成果】	スポーツ祭東京2013関連事業として、各会場をスタート地とした「国体応援ガイドツアー」を実施しました。25年度より区内観光ガイドツアーを8コースに拡張しました。年々観光ガイドの認知度も高まり、25年度の参加者はのべ1000人を超えました。		【成果】	第3期養成講座を実施し、21名を新たに観光ガイドとして認定しました。新江戸川公園周辺地域の魅力創出事業の一環として「文の京ガイドツアー」特別編-水と緑の関口コース-を実施しました。魅力あるコースの充実や認知度の高まりとともに観光ガイドの利用者数は年々増加し、26年度の参加者は1,318人となりました。		
【課題】	ニーズの増に対して観光ガイドの人数不足が課題です。そこで、26年度にはガイドボランティア、観光協会、区が連携し第3期養成講座の実施を実施し、現在のおよそ2倍の人数のガイドボランティアを目指します。		【課題】	養成講座により観光ガイドの人員が増加し、特に新たに認定したガイドを中心にガイドの質の向上が課題となっています。研修を充実させ、ガイドのレベルアップを目指します。また、新規コースを作成し、参加者の多様なニーズに応えるとともに、PR方法を見直し、利用者増を目指します。		
指標達成度				26年度	27年度	28年度
				A	A	

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
①参加者からは文京区ガイドの豊富な知識やガイドとしてのスキルの高さが評価され、リピーターの数も多くなっています。	
②観光ボランティアガイド数 登録者数34名	

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	拡充	観光客のニーズに応え、文京区の観光資源のさらなる発掘を目指し、新たなコースを開拓します。また、ガイドの質の向上、PRの工夫に努めます。
27年6月末	拡充	② 当初予算の増減内訳 隔年実施の養成講座の終了に伴う一般委託費の減 145千円 新規観光ガイドへの制服支給などに伴う一般委託費の増 89千円 レベルアップ研修回数増に伴う一般委託費の増 26千円 観光ガイド実績増に伴う一般委託費の増 36千円他
28年6月末		③ 所要人員の考え方 常勤職員2人×0.2=0.4
		④ 現状維持の理由

# 平成27年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	182	事業名	文の京の観光促進タウンガイドミーティング
基本構想上の位置付け	【大項目】		【小項目】
	コミュニティ・産業・文化		おもてなしの心
個別計画	アカデミー推進計画		
所管	アカデミー推進部	アカデミー推進課	
目的	多様な個人及び団体が自由な意見・アイデアを提案、議論して、2020年東京オリンピック・パラリンピックも見据えながら観光客のニーズ把握や誘致施策の課題等を明らかにし、新たな発想のもとで観光まちづくりを推進します。		
手段	観光の専門家である学識経験者や、大学、旅行者、観光・商業・交通関係団体等による会議体を設置し、区内の観光資源の活用と魅力発信、おもてなしの心の醸成と環境整備、観光を通じた地域や産業の活性化の推進、効果的な観光施策のための各主体の連携手法等について議論します。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
会議開催件数	回		4	4	100%	4			未定

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A		959	171	231		
特定財源		0	0	0		
一般財源		959	171	231		
所要人員 B		0.15	0.15	0.15		
職員1人給与 C		6,814	6,766	6,944		
人件費 D=B×C		1,022	1,015	1,042		
総経費 E=A+D		1,981	1,186	1,273		

4 評価					
事業の成果及び課題					
26年度		27年度		28年度	
【成果】		【成果】 これまで一同に会することのあまり無かった観光関連の各団体がコミュニケーションを図る機会を創出できたことにより、様々な発想で議論いただくことができました。会議の経過を踏まえた新規事業も検討、実施されているなど、連携強化についても一定の成果を見ることができました。		【成果】	
【課題】		【課題】 オリンピック・パラリンピックの開催を通過点として、区や地域が、観光を通じた施策をどのように検討、実施していくべきか議論を深めていく必要があります。それらを通じて、区や地域、関連団体等がより一層連携体制の強化などを行い、誰もが訪れたいくなる、魅力とおもてなしの心あふれるまちを実現していく必要があります。		【課題】	
指標達成度		26年度	27年度	28年度	
			A		

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	

6 今後の方向性		
時点	方向性	内容
26年6月末	現状維持	① 事業の展開内容 2年程度をかけ、多様な主体が区の観光に関する事項について自由な意見・アイデアを提案・議論します。
		② 当初予算の増減内訳 報償費の減 80千円 調査委託費の減 648千円
27年6月末	終了確定	③ 所要人員の考え方 一般職員1人×0.1=0.1人 非常勤職員0.5×1人×0.1=0.05人 計0.15人
28年6月末		④ 現状維持の理由

# 平成27年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	183	事業名	文京花の五大まつり等の支援
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		観光
個別計画	文京区アカデミー推進計画		
所 管	アカデミー推進部	アカデミー推進課	
目的	地域の町会・商店会等で組織する各実行委員会が行う「文京花の五大まつり」（さくら、つじ、あじさい、菊、梅）及び「文京朝顔・ほおずき市」「根津・千駄木下町まつり」の宣伝・広告及び実施に要する経費の一部を助成することを通じて、地域の発展と活性化及び観光客の誘致を図ります。		
手段	各まつりの宣伝・広告及び実施経費の一部を、町会や商店会等を中心に組織された実行委員会に助成します。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
来場者数	人	1,715,000	1,681,000	1,762,000	105%	1,706,000			1,731,000

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A	10,400	10,400	10,385	10,408		
特定財源	0	0	0	0		
一般財源	10,400	10,400	10,385	10,408		
所要人員 B	0.80	0.80	0.80	0.80		
職員1人給与 C	6,868	6,814	6,766	6,944		
人件費 D=B×C	5,494	5,451	5,413	5,555		
総経費 E=A+D	15,894	15,851	15,798	15,963		

4 評価			
事業の成果及び課題			
26年度		27年度	
【成果】	東京丸の内や御茶ノ水の観光インフォメーション施設等へのまつりポスターやパンフレット掲出など、特に区外の観光客向けに広報を拡充しました。また、まつり期間中に複数回区HPやツイッターで花の開花やイベント情報を発信することにより、まつりの機運を盛り上げました。	【成果】	文京あじさいまつりには石川県白山市が、文京梅まつりには熊本県上天草市がはじめて観光PR・物産販売等を実施するなど、賑わいを見せました。また、文京朝顔・ほおずき市には新たに牛天神北野神社が会場に加わり、来場者に区の新たな魅力を伝えることができました。新たに東京ドームホテルに特設ラックを設置しパンフレット掲出を行うなど、国内外から訪れる観光客向けに情報発信しました。
【課題】	引き続きまつりや地域の魅力を効果的にPRしていきます。また、まつりに訪れてくれた来訪客に、区内の別な各観光名所等への来訪意欲を促進する取組等を検討する必要があります。	【課題】	まつりの集客とあわせ、周辺地域への来訪を引き続き促進していきます。また、今後は国内外問わず増加すると予想される観光客の地域での受入体制も課題となり、そのためにもより区観光協会や地域との連携が必要となります。
指標達成度		26年度	27年度
		C	A

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
①	花の開花状況、見ごろ、付近の観光名所等に関する問合せが多くあります。
②	各まつりは実行委員会形式を採用しており、地元区民が企画運営の実施主体です。
③	区内東洋大学の学生が、調査研究等を目的に下町まつりの運営及びPR、あじさいまつりのイベントへの参加を行っています。また、跡見学園女子大学の学生が朝顔・ほおずき市へのイベントに、拓殖大学の学生が下町まつりへのイベントに参加を行っています。

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	現状維持	観光客の誘致と地域の活性化につながるよう、花の五大まつり、朝顔・ほおずき市、下町まつりの各実行委員会に運営経費の一部を助成して実施しています
		② 当初予算の増減内訳
		旅費の増 7千円
27年6月末	現状維持	③ 所要人員の考え方
		常勤職員 2人×(0.1+0.1)=0.4人 非常勤職員 0.5×2人×(0.2+0.2)=0.4人 計 0.8人
28年6月末		④ 現状維持の理由
		各まつりは、地域の町会・商店会が連携し組織した実行委員会により主体的に運営されており、区としても引き続き誘客及び地域の活性化につながるよう、PR等の支援を続ける必要があります。